

# ば ころ 馬耕教師の旅

「耕す」ことの近代

香月洋一郎 著

A5 判並製 288 頁 定価 3360 円（税込）

法政大学出版局刊

ISBN978-4-588-32703-2

江戸時代からふつうに行われていた感があるが、馬を使った耕起が日本の穀倉地帯に広まったのは、たかだかこの百年ほどのことにすぎない。この技術を指導した人たちを馬耕教師と呼ぶ。昭和初期には各地で馬耕の講習会や競技会が開かれるほど、日本中が明日の農業に希望を持ち、新しい技術を身につけようとするエネルギーにあふれていた。

耕耘機の登場とともに、またたくまに人々の記憶から消えていった歴史を振り返る。初公開の図版 100 点超

## 馬耕教師の横顔

- ・ 農家を納得させる技術は必須で、荒くれ馬を用意されても顔色を変えない
- ・ 小学校校長の数倍という高給取り
- ・ フロックコートや三揃えを着て登場
- ・ お見合いでは高い人気
- ・ 戦前は中国大陸や朝鮮半島へ渡った人も

## 著者紹介

香月洋一郎（かつき・よういちろう）

1949 年福岡県生まれ。民俗学。一橋大学社会学部卒業。日本観光文化研究所所員、神奈川大学経済学部助教授を経て、1995 年から 2009 年まで同教授。『景観のなかの暮らし』『山に棲む』『記憶すること・記録すること』『海士のむらの夏』など著書多数。



切り取って最寄りの書店にお渡しください

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7 法政大学出版局 TEL 03-5214-5540/FAX 03-5214-5542

注 馬耕教師の旅 「耕す」ことの近代 ( 冊) 書店名・番線  
ISBN978-4-588-32703-2 C0039 定価 3360 円（本体 3200 円＋税）  
文 お名前： TEL：  
書 ご住所：